

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：男女共同参画推進費

事業名【新】ぎふジョ！羽ばたきプロジェクト事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 男女共同参画・女性の活躍推進課 男女共同参画係

男女共同参画・女性の活躍支援センター

電話番号：058-214-6431

E-mail：c11234@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,495 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,495	0	0	0	0	0	0	0	2,495
決定額	2,495	0	0	0	0	0	0	0	2,495

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・本県の女性の管理的職業従業者に占める割合は、13%と全国的にも低位である。
- ・20～29歳の女性の転出が多く、若年女性の県外流出が顕著である。
- ・岐阜県内で活躍するロールモデルとなる女性との交流を通じて、女性自身のライフプランやキャリア形成について考える機会を提供し、女性活躍推進や若年女性の県内定着につなげる。

(2) 事業内容

女性のロールモデルとして県が登録した「岐阜で活躍する女性」と企業で働く一般女性や女子大学生との交流を図り、女性活躍推進や若年女性の県内定着につなげる。

●羽ばたきプロジェクト事業費【2,363千円】

- (1) 「岐阜で活躍する女性」と社会人との交流会
全国的に活躍する女性の講演のほか、岐阜県に在住・在勤の女性と「岐阜で活躍する女性」との交流会の開催
- (2) 「岐阜で活躍する女性」と大学生との交流会
大学生と「岐阜で活躍する女性」との交流会の開催

●事務費【132千円】

(3) 県負担

ロールモデルを活用した女性のキャリア形成支援は、本件の女性活躍の推進に向け不可欠であり、県負担は妥当

(4) 類似事業

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル評価委員報償費
旅費	80	プロポーザル評価委員費用弁償、業務活動旅費
消耗品費	10	資料作成費、コピー代
役務費	10	郵送料、電話料
委託料	2,363	事業費
合計	2,495	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
 - 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり
 - (3) 誰もがともに活躍できる共創社会
 - ①性差に関わらず活躍できる社会の確立
- ・清流の国ぎふ女性の活躍推進計画

(2) 国・他県の状況

愛知県（令和5年度）において類似事業あり

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

ロールモデルと交流することにより、女性の県内定着に資することは、誰もが活躍できる社会の確立に当たり不可欠であり、県が率先して実施すべきものとして、県負担は妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県推進計画において重点課題として掲げる、女性管理職比率を全国平均並みの水準に引き上げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標	
					達成率	
①管理的職業従事者に占める女性の割合	13.0%				18.2%	—

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	
令和4年度	
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
交流会の参加者数等から、ニーズを把握し、事業の継続を判断する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由
や期待する効果 など